

消化器内科

主任部長 岡田 光生

【当科の紹介】

榮枝弘司部長、青野礼部長、岡田光生主任部長、北岡真由子科長、梅下仁科長、大川良洋科長ほか医員4名、非常勤医3名、専攻医1名の総勢14名で診療を行っている。肝疾患、胆膵疾患、消化管疾患それぞれの領域やIBDを専門とする医師が診療を行い、消化器疾患全域を満遍なく、かつ専門性高く診療を実践している。検査、治療手技としてはESD、ERCP、interventional EUS、小腸内視鏡検査、RFAなどあらゆる検査、治療手技を行っている。また、消化管出血や胆道感染症などの救急疾患も数多く診療している。

【人事】

前田真佐医員は2021年10月より北里研究所病院、炎症性腸疾患センターにおいてIBDについて研鑽し、2023年4月より復帰。

田村恵理医員は2022年4月より昭和大学北部病院、消化器センターにおいて大腸内視鏡診断について研鑽中。

吉田莉奈医員は2022年4月より幡多けんみん病院において研修し、2023年4月に復帰。

村川和也専攻医は2022年4月より、初期研修に引き続き消化器内科専攻医として当科において後期研修中。

山本翔太医員は2023年4月より高知大学医学部第一内科より1年間の予定で、主にERCP、EUSなどの胆膵検査、治療の研修目的に勤務。

町田彩佳医員は2023年4月より1年間の予定で順天堂大学消化器内科においてERCP、EUSの研鑽を行っている。

村島侑子専攻医は2022年10月より聖路加国際病院より当科において半年間研修し2023年3月末に同院へ復帰。

大変喜ばしいことだが、医員の結婚、妊娠、出産が相次いでおり、2024年は3名が産休、育休に入る予定である。マンパワー低下が危惧されるが、診療の効率化を図り、診療レベルの維持に努めたい。

【診療実績】

内視鏡検査は2023年前半まではコロナ禍の影響で断続的に受け入れを制限していたが制限解除後に検査数が著増し大変忙しかった。内視鏡件数はコロナ禍前に比べて約6000件から6900件余りに増加した。診断のみの検査だけでなく、治療内視鏡の件数も増加した。診療数も増加しており、月平均の入院患者数は170名程度となっている。

内視鏡検査、治療

総数 6935 件

上部内視鏡検査 3553 件（治療内視鏡 504 件）

下部消化管内視鏡検査 2139 件（治療内視鏡 638 件）

小腸内視鏡検査 47 件（カプセル内視鏡 21 件、バルーン内視鏡 26 件）

ERCP 818 件

EUS 360 件

ESD 95 件

肝臓

肝腫瘍生検 10 件

通常肝生検 16 件

RFA 29 件

TACE 43 件

化学療法 31 例（複合免疫療法 23 例、分子標的薬 8 例）

入院患者数 2078 人

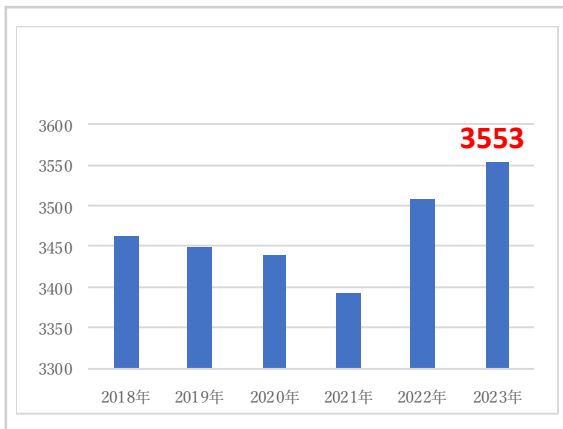


図 1 EGD

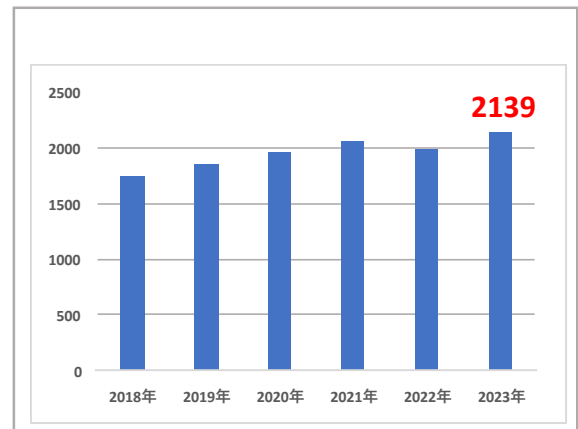


図 2 CS

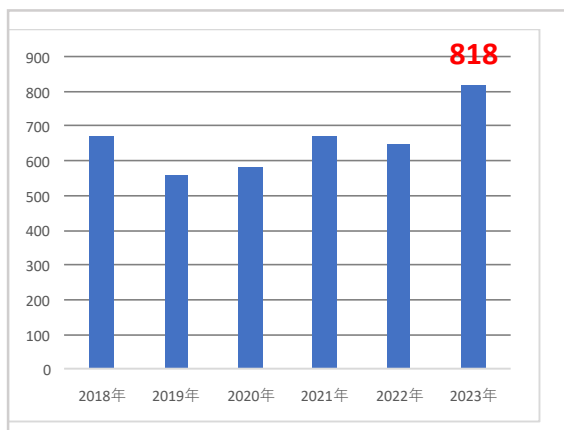


図 3 ERCP

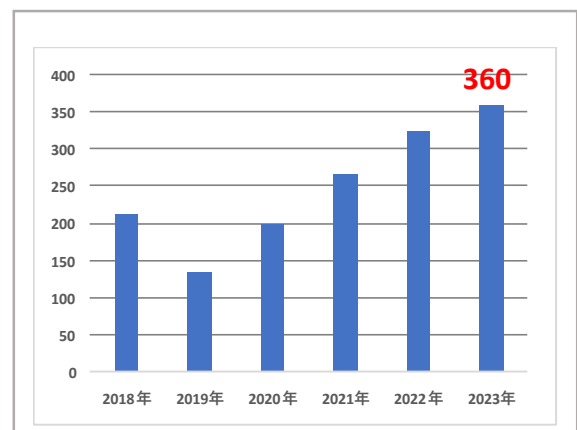


図 4 EUS

【学術活動】

本年も研究会、学会において多数の演題を発表している。現地開催、発表、聴講する機会が増加しており、大変刺激を受けている。本年は論文掲載を2編（いずれも英文誌）行った。2024年に掲載予定、執筆中が数本あり、今後も継続して投稿したいと考えている。

【今後の展望】

現在、診療数、診療内容ともに県下の基幹病院として十分な役割を果たしているが、今後もより一層診療数を増やし、診療内容の充実を行うことを目標としている。そのために以下のことを予定している。

- 1.病診連携の強化
- 2.医局員のキャリアアップ

地域講演会や病院訪問などの広報活動を実施しており、今後も継続していく。

また、科長、医員に対しては学会での発表にとどまらず、論文投稿、学会評議員や指導医資格の取得を促す。

院内においては消化器内科にとどまらず、内科全体や病院全体を考慮した働き方を求め、未来の近森病院を支える人材育成を行いたいと考えている。

学術発表・講演会等

学会発表（紙上発表を除く）

演題	発表者 共同演者	学会名	開催日時
膵管拡張を契機に診断した早期膵癌の一例	竹田有祐 大川良洋、梅下仁、岡田光生	第120回日本内科学会 総会（ことはじめ）	4月15日 東京
当院における ERCP 後膵炎の発症率とリスク因子についての検討	大川良洋 村川和也、町田彩佳、田島萌夢、矢野慶太郎、梅下仁、佐竹朋美、徳重美香、齋藤純子、市川博源、青野礼、榮枝弘司、岡田光生	第105回日本消化器内 視鏡学会	5月26日 東京
当院で経験した正中弓状靭帯圧迫症候群と分節性動脈中膜融解症の検討	田島萌夢 北岡真由子、梅下仁、大川良洋、佐竹朋美、矢野慶太郎、町田彩佳、村川和也、青野礼、榮枝弘司、岡田光生	第109回日本消化器病 学会総会	6月8日 長崎
当院におけるアルコール性肝硬変の現状と今後の課題	榮枝弘司 佐竹朋美、北岡真由子、青野礼、岡田光生	第59回日本肝臓学会 総会	6月15日 奈良
GEL immersion 法による低圧内視鏡で横行結腸が脱出した Morgagni 孔ヘルニアを修復した1例	矢野慶太郎 北岡真由子、岡田光生、榮枝弘司、矢野智則	第130回日本内視鏡学 会四国支部例会	6月17日 高松
COVID-19 罹患後に発症した自律神経障害を伴う慢性偽性腸閉塞症の1例	木村和俊 矢野慶太郎、村川和也、田島萌夢、梅下仁、大川良洋、佐竹朋美、徳重美香、齋藤純子、北岡真由子、青野礼、榮枝弘司、岡田光生	第119回日本消化器病 学会四国支部例会 （日本消化器病学会研 修医奨励賞）	6月17日 高松

自然解除された腸間膜捻転の1例	吉宗 冨 北岡真由子、田島萌夢、矢野慶太郎、佐竹朋美、梅下仁、大川良洋、青野礼、榮枝弘司、岡田光生	第128回日本内科学会 四国地方会	7月23日 高知
小腸子宮内膜症により腸閉塞を発症した1例	秦剛志 佐竹朋美、北岡真由子、榮枝弘司、岡田光生	第128回日本内科学会 四国地方会	7月23日 高知
腹部動脈瘤破裂を来した正中弓状靭帯圧迫症候群に対して、待機的に腹腔鏡下靭帯切除術を施行した1例	野村真緒 田島萌夢	第128回日本内科学会 四国地方会(初期研修医奨励賞・指導医賞)	7月23日 高知
慢性膵炎に起因する左側門脈圧亢進症により胃静脈瘤を認めた3症例	野村真緒 梅下仁、榮枝弘司、岡田光生	第76回高知医師会学会	8月19日 高知
オルメサルタンによると思われる薬剤性スプルー様腸疾患の1例	吉宗 冨 吉田莉奈、青野礼、榮枝弘司	第76回高知医師会学会	8月19日 高知
腹膜透析開始後約1年間の経過で発症した被嚢胞性腹膜硬化症	秦剛志 村川和也、梅下仁、岡田光生	第76回高知医師会学会	8月19日 高知
慢性膵炎に起因する左側門脈圧亢進症により胃静脈瘤を認めた3症例	野村真緒 榮枝弘司	第30回日本門脈圧亢進症学会(若手医師奨励賞)	9月22日 東京
左胃静脈異所性還流による鬱血が原因と思われる出血性毛細血管拡張症の1例	堤明日香 榮枝弘司	第30回日本門脈圧亢進症学会	9月22日 東京
当院におけるウイルス性急性肝炎症例の臨床的検討	佐竹朋美 北岡真由子、岡田光生、青野礼、榮枝弘司	第20回日本肝臓学会 大会(JDDW2023)	11月2-4日 神戸
当院における肝硬変に合併したHepatopulmonary syndrome (HPS) 症例の検討	村川和也 榮枝弘司、佐竹朋美、北岡真由子、青野礼、岡田光生	第109回消化器病学会 総会(JDDW2023)	11月2-4日 神戸
腹膜透析開始後約1年の経過で発症した被嚢胞性腹膜硬化症の1例	秦剛志 村川和也、梅下仁、岡田光生、榮枝弘司	第129回日本内科学会 四国地方会	12月3日 高松
内視鏡検査後に発症した特発性気腫症の1例	山本達之 北岡真由子、佐竹朋美、梅下仁、大川良洋、青野礼、榮枝弘司、岡田光生	第129回日本内科学会 四国地方会	12月3日 高松
選択的C5a受容体拮抗剤Avacopanにより胆管消失症候群を来した1例	澤村大造 宇都宮慧、吉村和彦、佐竹朋美、榮枝弘司	第129回日本内科学会 四国地方会	12月3日 高松
同一肝腫瘍内に肝限局性結節性過形成とβ-catenin活性化を伴う炎症性肝細胞腺腫の併存が疑われる1例	秦剛志 榮枝弘司、佐竹朋美、北岡真由子、青野礼、岡田光生、塚田暁	第45回日本肝臓学会 西部会	12月7-8日 京都
CT陰性結石による胆管炎症例に対するEUSの有用性の検討	大川良洋 梅下仁、青野礼、榮枝弘司、岡田光生	第120回日本消化器病学会四国支部例会、第131回消化器内視鏡学会四国支部例会合同シンポジウム	12月9日 高知
ブデソニドが著効したオルメサルタン関連スプルー様腸疾患の1例	吉宗 冨 吉田莉奈、村川和也、前田真佐、山本翔太、山本萌夢、矢野慶太郎、梅下仁、大川良洋、佐竹朋美、北岡真由子、青野礼、岡田光生、榮枝弘司	第131回日本消化器内視鏡学会四国支部例会(研修医・専攻医最優秀演題)	12月9日 高知
偶然の機会に診断された成人トキソカラ症の1例	竹森菜咲 青野礼、佐竹朋美、前田真佐、矢野慶太郎、梅下仁、北岡真由子、大川良洋、岡田光生、榮枝弘司、清水和人、坂西誠秀、中嶋絢子	第120回日本消化器病学会四国支部例会	12月10日 高知

高知県内研究会

演 題	発表者 共同演者	研究会名	開催日時
ウイルス性肝炎の治療と院内における陽性患者の拾い上げ	榮枝弘司	高知県医療安全 Web セミナー	2月2日 Web
消化器内科からみた脂質治療	佐竹朋美	Kowa Web Conference	2月7日 Web
その血便、痔じゃないかも！ ～内科医が知っておくべきIBDの基本のキ！～	田島萌夢	幡多医師会	2月20日 四万十市+Web 高知エリア
成人型 Still 病に対するトシリズマブ投与後に肝障害を来した1例	佐竹朋美 榮枝弘司	四国肝病理疾患セミナー	3月18日 高松
Wilson 病との鑑別を要した若年者の高度脂肪肝の1例	榮枝弘司	第24回ウイルソン病研究会	5月6日 東京
肝型にとどまっている Wilson 病の成人親子例	榮枝弘司	第24回ウイルソン病研究会	5月6日 東京
膝仮性嚢胞に対する EUS 下 drainage	大川良洋	ウイルス性慢性肝炎患者ランチ Web セミナー	6月12日 Web 四国エリア
ウイルス性肝炎の治療と患者の拾い上げ～訴訟リスクを減らすために～	榮枝弘司	高知県眼科医会勉強会	6月29日 高知
満足度の高い便秘診療を目指して～当院での取り組みと工夫～	北岡真由子	ウイルス性慢性便秘症ランチ Web セミナー	7月4日 Web 四国エリア
大腸での GIE の活用法	矢野慶太郎	ビスコクリアセミナー@高知	7月5日 Web 四国エリア
これまでとこれからの肝細胞癌治療	榮枝弘司	高知県肝細胞癌セミナー	7月14日 高知+Web エリア
肝腫瘍の1例	榮枝弘司	高知肝疾患症例検討会	7月18日 高知
ESD チームの最近の取り組み	岡田光生	消化器病治療セミナー	9月14日 高知商工会議所 +web 高知エリア
小腸内視鏡について	矢野慶太郎	消化器病治療セミナー	9月14日 高知商工会議所 +web 高知エリア
糖尿病と脂肪肝	榮枝弘司	高知県糖尿病研究会	9月27日 高知
ウイルス性肝炎撲滅のために	榮枝弘司	高岡郡医師会肝炎セミナー	10月23日 高知
糖尿病と非アルコール性脂肪性肝疾患～肝癌死亡を防ぐために～	榮枝弘司	高知県糖尿病チーム医療研修会	11月19日 高知

高知県講演会

演 題	発表者 共同演者	研究会名	開催日時
胆膵疾患に対する内視鏡治療	大川良洋	日本消化器病学会四国支部例会第44回教育講演会	11月23日 高松
EMR、ESD で知っておくべきこと	岡田光生	日本消化器病学会四国支部例会第44回教育講演会	11月23日 高松

論文

タイトル	執筆者 共同執筆者	掲載誌 出版社	巻・号 ページ
Low-pressure endoscopy using the gel immersion method facilitates endoscopic reduction of a Morgagni hernia	Keitaro Yano , Tomonori Yano , Alan Kawarai Lefor , Tetsuya Yano , Rei Aono , Hiroshi Sakaeda , Mitsuo Okada	Endoscopy	2023;55(S 01): E837-E838
Milan Ultrasound Criteria Predict Relapse of Ulcerrated Colitis in Remission	Masa Maeda , Shintaro Sagami , Moyu Tashima , Yoko Yamada , Ryo Karashima , Yusuke Miyatani , Aya Hojo , Masaru Nakano , Toshifumi Hibi , Taku Kobayashi	Inflammatory Intestinal Diseases	2023 Jul 26; 8(3):95-104.